



# 株式会社セック

Systems Engineering Consultants Co.,LTD.

<http://www.sec.co.jp/>

証券コード：3741

## 2005年3月期決算 説明資料

2005年5月19日

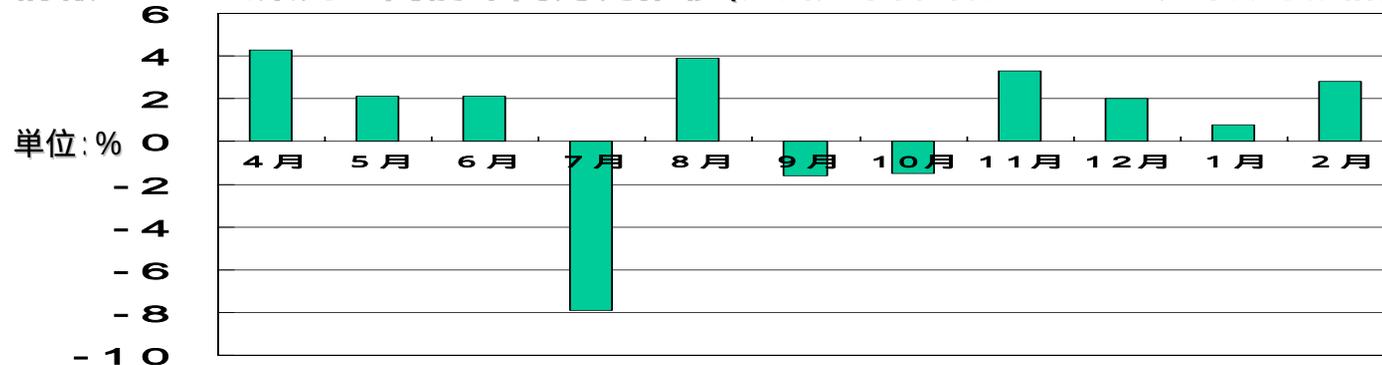
# 2005年3月期 決算概要

# 事業環境とトピックス

## 2005年3月期の事業環境

IT需要の伸びには**力強さがなかった**

情報サービス業売上高前年同月比推移(経済産業省:特定サービス産業動態統計)



お客様からの**厳しいIQCD改善要請**が続いていた

**Q**:品質・機能    **C**:価格    **D**:開発期間

## 2005年3月期のトピックス

2004年6月10日 JASDAQ上場

2004年9月01日 渋谷第2オフィス開設

# 2005年3月期の総括

## 2005年3月期の成果

- 株式上場により得られた「信用力」も寄与して、**新規取引先の大幅増加**
- 研究開発・製品化の成果として、**地上デジタル放送技術、ベクトル描画技術、位置情報サービス技術**に関連してソリューションツール及びコアテクノロジーに広がりが見られた
- **ロボット**の研究開発が本格的に始動

## 2005年3月期の反省

- **問題プロジェクト発生で業績悪化**
  - - - 前期比減収減益、業績見直し下方修正

大型の工程遅れプロジェクト発生に伴う不採算及び受注機会損失  
受注量不足から社内稼働率低下  
過去に開発した技術アプリケーションの性能障害の顕在化

# 損益計算書

単位:百万円

	2005年3月期	2004年3月期	前期比
売上高	2,373	2,813	15.6%
売上原価	1,754	1,832	4.3%
売上総利益	619	981	36.8%
販売管理費	473	483	2.2%
営業利益 (営業利益率)	146 (6.2%)	497 (17.7%)	70.6% (11.5%)
経常利益	118	500	76.3%
当期純利益	66	273	75.8%

**売上原価** 問題プロジェクト対応のため**人件費の増加**

受注量不足による**外注費の減少**

**販売管理費** **研究開発費の増加**

経費節減と業務効率化による**人件費の減少**

**JASDAQ上場**に関連した**手数料の増加**

**営業外損益** **JASDAQ上場**関連費用の発生

**特別損益** 本社スペース拡張(**渋谷第2オフィス開設**)に伴う**特別損失の発生**(投資有価証券売却益により相殺)

# 貸借対照表

単位:百万円

	2005年3月31日	2004年3月31日	増減
流動資産(百万円)	2,553	2,340	212
固定資産(百万円)	1,086	820	266
流動負債(百万円)	332	576	243
固定負債(百万円)	166	214	47
純資産(百万円)	3,140	2,369	770
総資産(百万円)	3,639	3,160	479
株主資本比率	86.3%	75.0%	11.3%
流動比率	766.9%	405.9%	361.0%
固定比率	34.6%	34.6%	0.0%

- 流動資産の増加      公募増資などによる現預金の増加
- 固定資産の増加      増加した現預金の一部を長期性預金に振り替えたことでの増加
- 流動負債の減少      利益水準低下による未払税金の減少
- 純資産の増加      株式上場にとまなう公募増資  
オーバーアロットメントに係る第三者割当増資

# キャッシュフロー計算書

単位:百万円

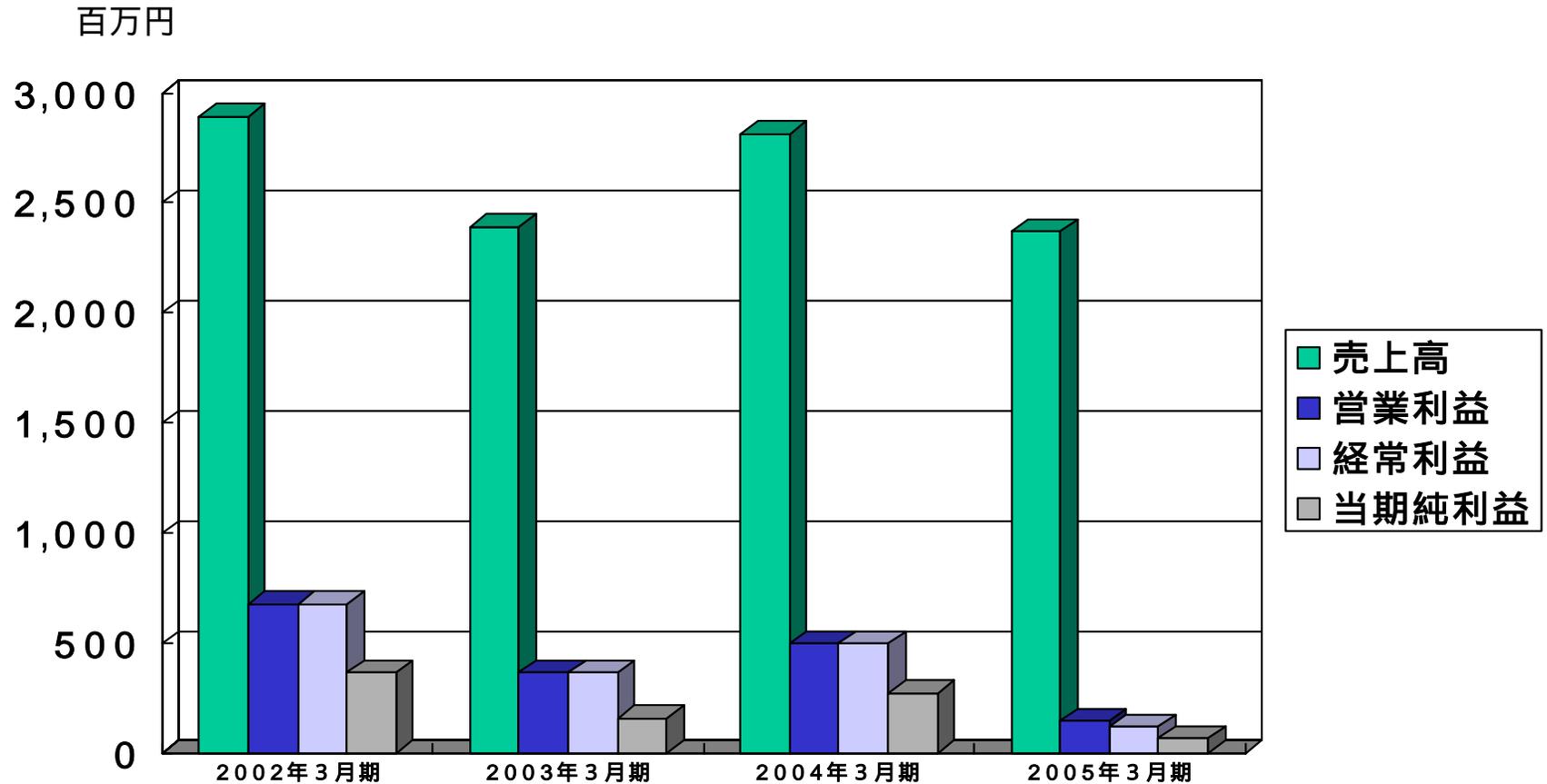
	2005年3月期	2004年3月期	前期比
営業活動によるキャッシュフロー	80	279	199
投資活動によるキャッシュフロー	364	85	278
財務活動によるキャッシュフロー	693	21	715
現金及び同等物の増減額	409	172	237
現金及び同等物期末残高	1,647	1,237	409
参考)長期性預金	400	-	400
参考)現預金 + 長期性預金	2,047	1,237	809

営業キャッシュフロー 業績不振により前期より減少

投資キャッシュフロー 長期性預金への振り替え4億円により減少

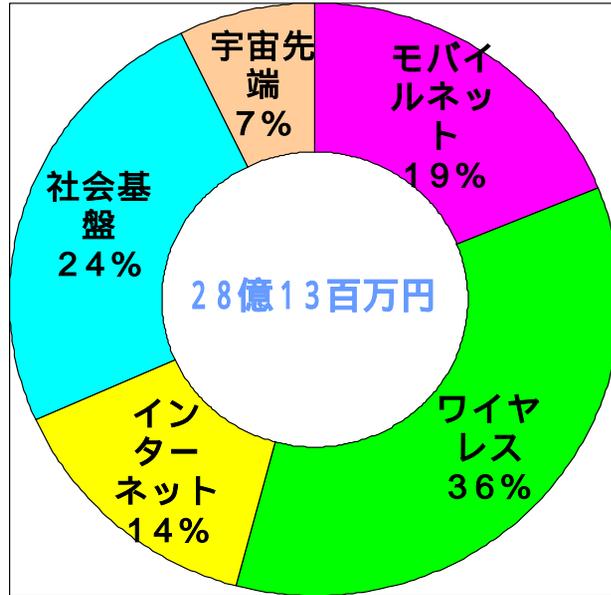
財務キャッシュフロー 公募増資とオーバーアロットメントに係る第三者割当増資により増加

# 通期 業績推移

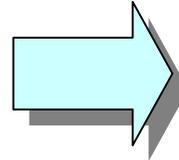


# BF別の状況

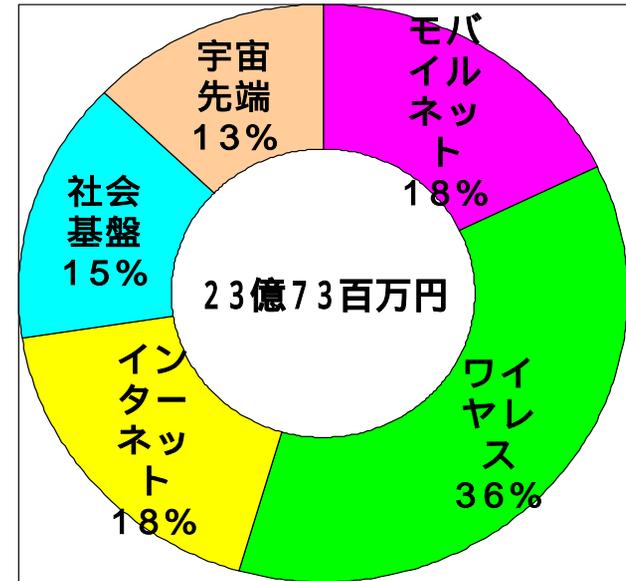
2004年3月期



売上構成比の  
変化



2005年3月期



モバイルネットワークBF

コアテクノロジーサービス堅調、ただし低価格化  
基幹ネットワーク技術アプリケーション小型化

期待を下回る。ただし利益面は比較的好調

ワイヤレスBF

大型の工程遅れプロジェクト発生による直接・間接の悪影響  
下期に既存取引先からの受注量の復調と増加  
新規取引先拡大の成果

上期の不調を埋め合わせることはできず

インターネットBF

地上デジタル放送技術・ベクトル描画技術の先行商談受注  
位置情報サービス技術は公共分野の実証実験に採用される  
商談対応に多くを割く、小型案件が多い

期待を下回る

社会基盤システムBF

前期の地上デジタル放送関連案件の終結

予想通り売上高減少

宇宙先端システムBF

数年に亘る低迷を脱して商談量増加

業績改善、利益面は比較的好調

その他

Karearea販売

販売実績は前期比微減

# 技術サービス別の状況

## 売上高構成比率

単位：%

BF	エンベデッド ソフトウェア	コアテクノロジー サービス	技術アプリケーション	合計
モバイルネットワーク	-----	65.5 (75.7)	34.5 (24.3)	17.8 (18.7)
ワイヤレス	100.0 (100.0)	-----	-----	36.4 (35.4)
インターネット	4.1 (18.3)	47.9 (40.8)	48.0 (40.9)	18.1 (13.8)
社会基盤システム	-----	-----	100.0 (100)	14.5 (24.4)
宇宙先端システム	30.7 (23.7)	44.5 (41.2)	24.8 (35.0)	12.8 ( 7.4)
合計	41.0 (39.6)	26.0 (22.8)	32.5 (37.2)	99.6 (99.6)

( )内の数字は、前期(2004年3月期)の構成比率

参考) ソリューションツール 0.4% (0.4%)

# 期末（2005年3月末日）の状況

- 主力のワイヤレスBFで商談量が豊富
  - 潜在性能障害が顕在化した案件の性能改善作業で確認作業が残る
  - 小型化・低価格化・短納期化などにより受注残高水準が例年より低下
- 
- 研究開発・製品化の期末状況

ユビキタス	OMA活動	DRM(デジタル著作権管理)を中心に活動中
	地上デジタル放送技術	1seg・3segBMLブラウザ及びデコーダの研究開発完了
	ベクトル描画技術	ビジネス化に移行済み
	位置情報サービス技術	位置情報サービス(LBS)プラットフォームの製品化を概ね完了
ゼロ・レイテンシー(瞬時応答) Karearea開発		大量データ対応の分散DB機能の開発を概ね完了
短期開発技術		フレームワーク調査がほぼ完了
ロボット		複数の大学との共同研究、またロボット関連諸団体での活動を推進中

# 利益金処分方針

2005年3月期配当(6月29日の定時株主総会付議予定)

1株に対して**20円**

## 配当の方針

毎期原則として**安定的に配当する部分と、**  
**所定の配当性向**とを勘案して決定する方針といたします。  
配当性向としては、**当面30%**を目指して参ります。

## 内部留保金の方針

下記に重点配分

当社成長の元であるイノベーションの連鎖を断たないための  
**研究開発・製品化投資**

ビジネスや技術の変化適応力を強化するための  
**社員教育投資**

# 2006年3月期 業績見通し

# 2006年3月期重点テーマ

## 景況認識

- IT需要は、伸び率は大きくはないものの、**全体としては拡大する**と予想されている。
- **事業環境は厳しい状況が継続する。**
  - - 案件の**小型化・低価格化・短納期化**が益々顕著

## 重点テーマ - - - **企業価値を高め、信用回復**

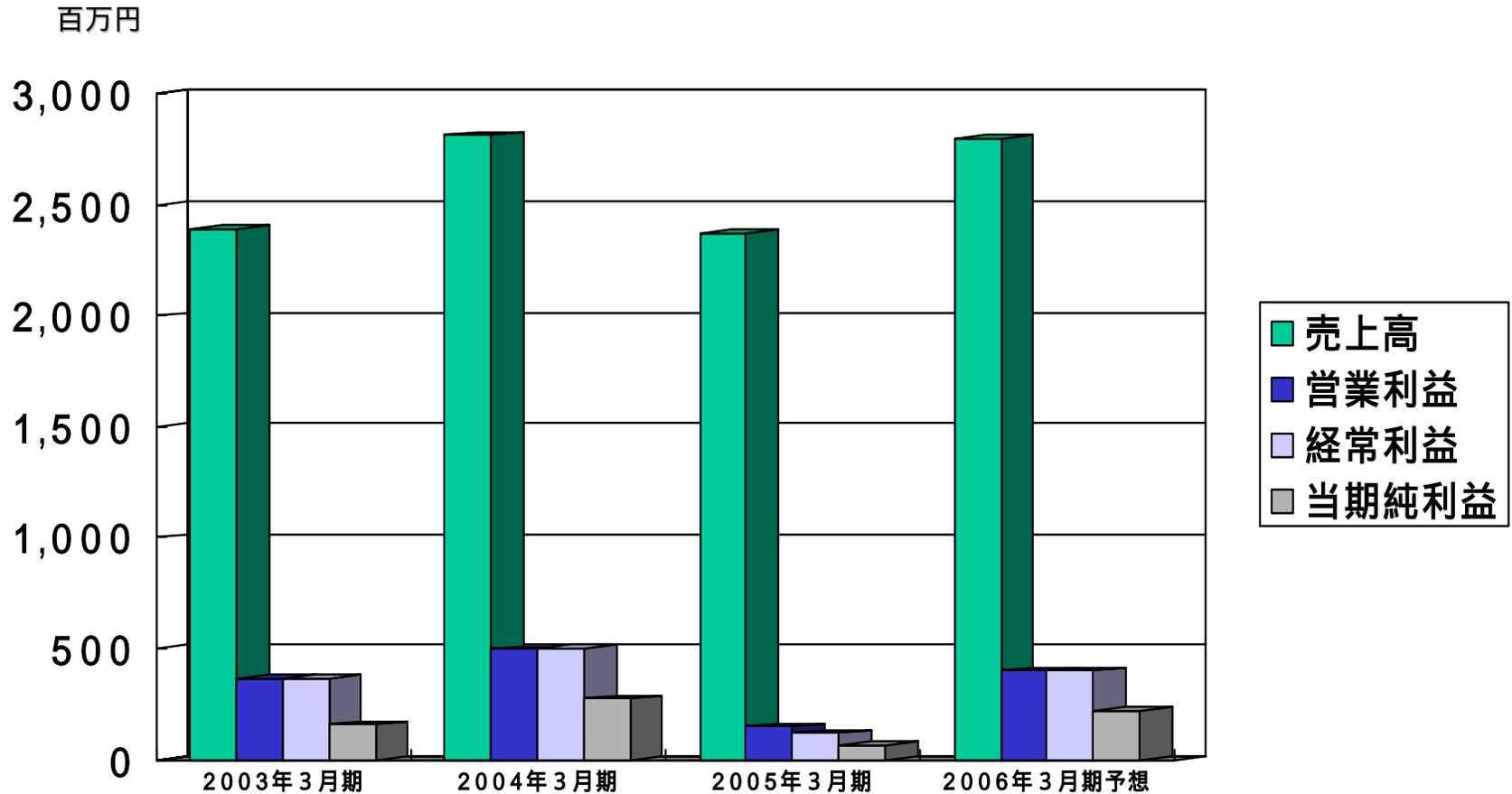
- **問題プロジェクトを発生させない。**
  - 組織的な第三者レビューの実施
  - 品質マネジメントシステムの徹底
  - プロジェクト管理の組織的支援
  - 内部統制機能の動員
  - その他、社員教育の強化、標準化推進、メトリックス整備など
- 「ユビキタス」を中心テーマとする、**数年前とは大きく異なる需要構造**下で、当社**業績の底固め**を行い、**新たな成長曲線**をスタートさせる。

# 2006年3月期業績見通し

単位:百万円

	2006年3月期 見通し	2005年3月期 実績	増減比率
売上高	2,800	2,373	+17.9%
売上原価	1,895	1,754	+8.0%
売上総利益	905	619	+46.1%
販売管理費	505	473	+6.7%
営業利益 (営業利益率)	400 (14.3%)	146 (6.2%)	+173.2% (+8.1%)
経常利益	400	118	+236.8%
当期純利益	220	66	+232.2%

# 通期業績の推移



# 2006年3月期B F別事業方針

## モバイルネットワークB F

主力の**移動体通信事業者向けコアテクノロジーサービス**に加え、携帯電話端末の**要素技術開発の拡大**、また復調の兆しがある**基幹ネットワーク関連技術アプリケーション**案件の受注

## ワイヤレスB F

既存取引先との取引拡大に**新規取引先との取引拡大**を加え、携帯電話端末の**エンベデッドソフトウェアビジネス**を大幅拡大

## インターネットB F

**地上デジタル放送技術**、**ベクトル描画技術**での比較的大型の案件受注、また**位置情報サービス技術**の製品化を進め先行商談で販売実績を積み上げる

## 社会基盤システムB F

社会インフラ更新技術**アプリケーション**商談は慎重に受注判断、**位置情報サービス技術**関連の**技術アプリケーション**を加え、**業績成長の安定化**を優先

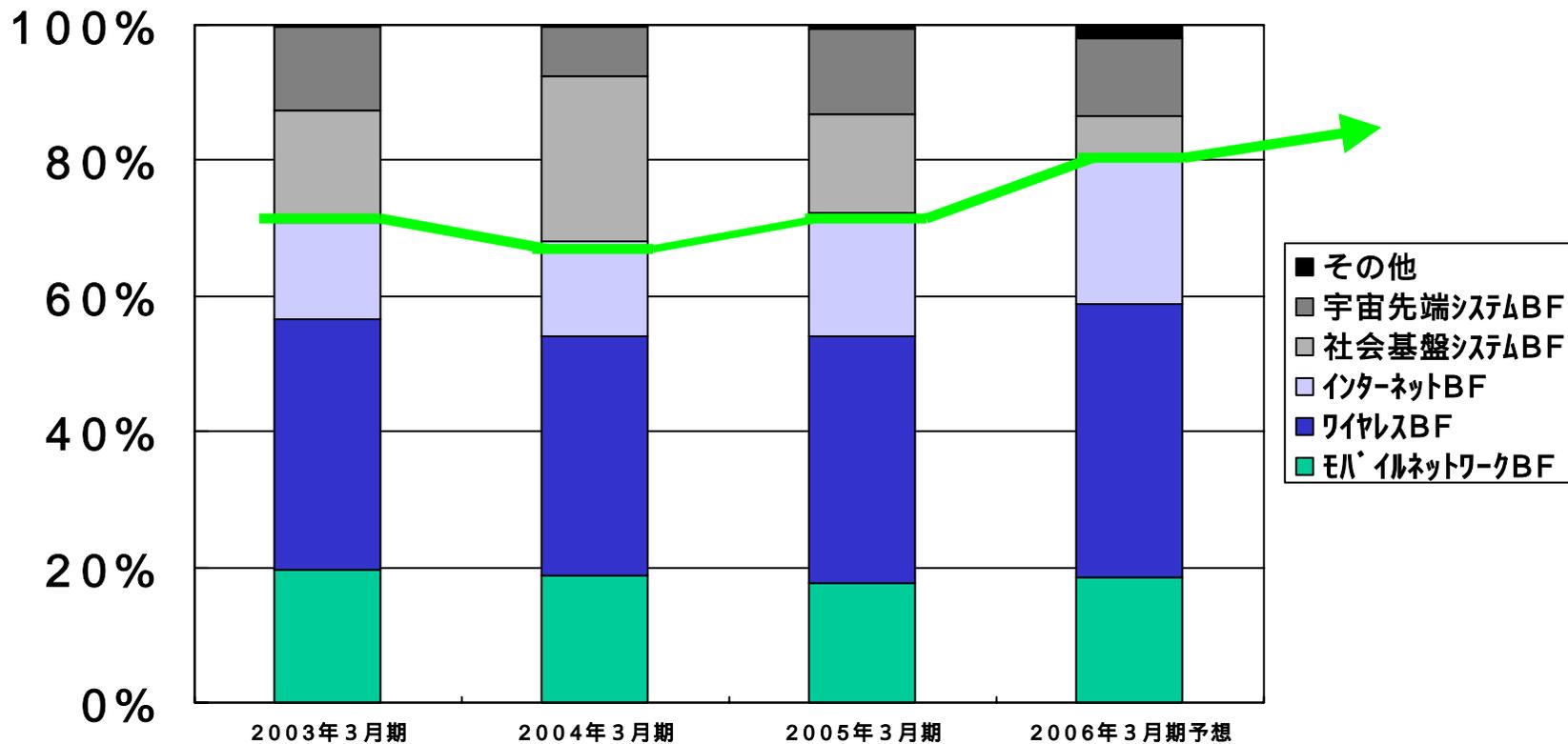
## 宇宙先端システムB F

**今夏のロケット打ち上げ成功**を注目、**ロボット案件**を加えて拡大

## その他（ソリューションツールなど）

**Karearea** に、**地上デジタル放送技術**、**位置情報サービス技術**に関連した**ソリューションツールの販売**が加わる

# BF別売上高比率の推移見通し



# 株式会社セックの 中期的戦略

# 中期的な事業環境認識

## 情報社会の本格化

代替手段なきコンピュータ依存社会

### ■コンピュータシステムの社会システム化

高性能化・高機能化・複雑化・大規模化などにもかかわらず

システムダウンが認められない

### ■ボーダレス化

低価格化

### ■社会の変化の速さ

短期間開発

際限のないQCD改善（高品質・低価格・短納期）要請

何らかの差別化ポイントがないと消耗戦

ITによるメリットを提供できなくなる

お客様不満足

# 中期基本方針

**QCD&I** をスローガンとするお客様中心ビジネスの推進

- - - **QCD** (品質・コスト・納期) を窮め、**I** (イノベーション) で飛躍

## ■ **QCD** 対応力の更なる強化

基本となるお客様満足度の獲得

## ■ **I** (イノベーション) により **IT** のメリットを提供

「**New Element to New System**」

- - 「**New Element**」による「**New System**」で不可能を可能に  
それが最高のお客様満足度に、ビジネスの高付加価値化に繋がる

「**New Element**」を根っこに据えた**主体的ビジネス**から  
ひいては**社員数に制約されない事業成長**へ



## 正攻法での取り組みを粛々と

### 組織的対応の整備、プロジェクト管理のレベルアップ

品質の可視化の徹底(Qの欠損はCDの制御を不能とする)  
リスク管理の強化  
取引先とのコミュニケーション緊密化

### 不採算プロジェクト撲滅

見積もり精度向上に向けた標準化推進、実績データ整備  
採算管理の強化  
内部統制機能の動員  
社員教育、社内制度の改善

### 短期開発技術の強化

研究開発のテーマとして「短期開発技術」を採り上げる  
開発環境管理・技術環境管理の体制強化

キーワード  
**ユビキタス**  
Ubiquitous

我々の身の回りの全てのものにコンピュータを埋め込んでネットワークに接続することで、我々の生活を、安全、安心、快適、効率的に、また環境負荷を低減化する技術。



# ユビキタス / 今日までの取り組み

通信ネットワーク

エンベデッド  
ソフトウェア

豊富なユビキタス  
基盤技術の蓄積

OMA活動

無線通信規格の国際標準化団体

XML

データベース



ITS

高度道路交通システム

## リアルタイム技術

# ユビキタス / 新しい基盤技術への取組み

## 地上デジタル放送技術

BML (Broadcast Markup Language)

地上デジタルテレビ・ラジオ放送での  
放送と通信を統合したサービスに  
不可欠となる技術

*air*Cube

## ベクトル描画技術

SVG (Scalable Vector Graphics)

きれいで  
わかりやすい  
ユーザインターフェイスを可能とする  
ベクトル描画技術 - - SVG

*air*smartG

## 位置情報サービス技術

LBS (Location Based Services)

測位システム (GPS) と  
地理情報システム (GIS) を融合した  
位置情報サービス技術 - - LBS

*air*L P

## ロボット技術

(Robotics Technology)

ロボットソフトウェア共通化に向けた活動及び研究

- 共同研究 (NEDO 案件: 複数の大学より受注)  
「ミドルウェア利用ロボットシステム」
- 日本ロボット工業会  
「RTミドルウェア普及調査研究専門委員会」  
産総研と共同で RTミドルウェアをマイコンに移植
- RSI (Robot Services initiative) にて、  
仕様策定並びに実証実験に参画

**Robotics**

airCube, airsmartG, airLooP は開発コードです。製品開発コードの「air」= ユビキタスをイメージ

# ユビキタス / 今後の事業展開

## ユビキタス技術アプリケーションビジネス拡大

ニューエレメントにより  
主体性確保

ロボット技術

ロボットソフトウェア共通化・標準化技術  
RTミドルウェア

地上デジタル放送  
技術

12seg・3seg・1segハイブリッド対応BMLブラウザ、デコーダ  
地上デジタルテレビ/ラジオアプリケーション

主体的ビジネス  
で高付加価値化

ベクトル描画技術

ベクトル描画アプリケーション(SVGブラウザ)  
ベクトル描画技術の携帯電話、携帯端末、街角案内表示板等への実装

ソリューション  
ツールなどで  
社員数に制約さ  
れない事業成長

位置情報サービス  
技術

LBS(位置情報サービス)基盤ソリューションツール  
他社GIS製品との融合・地図コンテンツを収容したASPビジネス研究

OMAなどの国際標準技術、ブラウザ・メーラなどインターネット連携機能、  
Java・BREWなど仮想化技術、などといった携帯電話端末のコアソフトウェア開発

ベース

2004年度

2005年度

2006年度

2007年度

携帯向け地上デジタル  
テレビ放送開始

携帯向け地上デジタル  
ラジオ放送開始

# 社員数に制約されない事業成長を目指して

「ニューエレメント」による主体的なビジネスで高付加価値化

当面の「ニューエレメント」

携帯電話端末国際標準技術

地上デジタル放送技術

ベクトル描画技術

位置情報サービス技術

Karearea

ロボットソフトウェア共通化技術

オブジェクト指向設計技術 など

研究開発・製品化活動で「ニューエレメント」の品揃え充実

## 新たなビジネスモデルへの挑戦

ライセンスビジネス

ロイヤリティビジネス

ASPなどストックビジネス

アライアンスによるビジネス

## アライアンス推進

他社や大学との共同研究

ソリューションツール販売

営業面、技術面、製造面などでのwin-win連携

# 研究開発

## ユビキタス (Ubiquitous)

### WAP応用技術研究

OMA活動

### リッチコンテンツ技術研究

地上デジタル放送技術  
ベクトル描画技術  
位置情報サービス技術

### ロボットソフトウェア共通化 に向けた活動及び研究

RSi (Robot Service initiative)  
ORiN (Open Robot/Resource  
Interface for the Network)  
RTミドルウェア

## 短期開発技術

### エンベデッドソフトウェア 開発技術研究

開発フレームワーク  
開発ツール

## 製品化・ ビジネス適用

2006年3月期中に製品化ないし  
ビジネス適用段階へ重点を移す

ゼロ・レイテンシー (Karearea)  
地上デジタル放送技術  
ベクトル描画技術  
位置情報サービス技術

# 超高速インメモリXMLデータベース Karearea (カレアレア)

Kareareaは、世界最高速レベルのXML検索性能を発揮するだけでなく、業界で初めてXMLによる高速多次元集計を実現した、全く新しいタイプのXMLデータベース製品です。

## XML適用の拡がり

- 企業間取引
  - ▶ RosettaNet
  - ▶ cXML
  - ▶ Webサービス
- 財務情報
  - ▶ XBRL
- 放送
  - ▶ BML
- 新聞
  - ▶ NewsML
- 地図情報
  - ▶ G-XML
- マルチメディア
  - ▶ SMILE
  - ▶ SVG
  - ▶ MPEG-7
- 音声
  - ▶ VoiceXML
- バイオ
  - ▶ BSML
- 化学
  - ▶ CML
- 数式
  - ▶ MathML
- RFID
  - ▶ PML
- 医療
  - ▶ MML
- 放送・新聞
  - ▶ BML
  - ▶ NewsML
- 観光
  - ▶ TravelXML
- 電子出版
  - ▶ JepaX

大量のXMLデータを高速に処理する必要性

## Kareareaの特徴

- 高性能
  - ▶ 数百万ノードからの検索、ソート、集計がミリ秒オーダー
  - ▶ チューニング不要、インデックス不要
  - ▶ XMLによる最大4次元までの高速多次元集計
- 高機能
  - ▶ ユーザ定義関数による高度な検索・集計
  - ▶ RDB感覚のソート、多段階絞り込み検索、検索結果の結合
  - ▶ 付属GUIツールによる定型業務構築
  - ▶ RDB連携、データの一括ロード/セーブ
  - ▶ 分散データベース機能
  - ▶ 開発用Java API



## Kareareaの主な適用実績

特許情報統計システム  
衛星観測データリモートモニタシステム  
製品原価計算システム  
世論調査アンケート集計システム  
衛星テレメトリデータ分析(論文発表)  
官公庁向け変更・構成管理システム  
博物館システム

太陽観測衛星統合データベースシステム  
衛星観測データベースシステム  
仮想天文台データベースシステム  
製造業向け設計支援システム  
電子番組表システム  
商品企画データベースシステム

# 地上デジタル放送技術

## air Cube (製品開発コード)

### 搭載対象ユビキタス機器

通信と放送の連携を可能とする地上デジタル放送技術を、  
各種ユビキタス機器へ適用しています。

携帯電話 / 車載端末 / PC / ポータブルTV / PDA

### ソリューションラインナップ

- 12seg, 3seg, 1segハイブリッド対応の**BMLブラウザ**
- **デコーダ**(DMUX, PSI/SI, DSM-CC等)
- 上記を包含した**地上デジタルテレビ / 地上デジタルラジオアプリケーション**
- コンテンツ制作支援(オーサリングツール、PCビューア等) -> 製品化検討中

### 新しいビジネスへの挑戦

- **ライセンスビジネス**  
開発ライセンス (SDK: Software Development Kit) の販売  
特定のAPI (Application Program Interface) やプラットフォーム、プログラムに  
おけるソフトウェア開発のためのツール集の販売
- **ロイヤリティビジネス**
- **コンサルティングビジネス** (防災適用・コンテンツ制作など)

# ベクトル描画技術

## air smartG (製品開発コード)

### 搭載対象ユビキタス機器

SVG (Scalable Vector Graphics) データを忠実にレンダリングするベクトル描画技術を、各種ユビキタス機器へ適用しています。

PC / 携帯電話 / PDA / 車載端末 / 情報家電 / その他、街角案内表示板など

### ソリューション適用事例 (2005年3月期)

- 国土交通省国土地理院と、「電子国土の携帯電話での利用に関する研究」を共同で推進
- (財)データベース振興センター 平成16年度「次世代地理情報システム推進事業」内の「観光立国推進のためのgコンテンツ利活用地域サービス情報提供モデルの調査」で採用。愛知万博にて設置中。
- KDDI株式会社が提供するモバイルソリューション「ケータイオフィス」内の「ドキュメントビューアー (Microsoft® Word、Microsoft® Excel、Microsoft® PowerPoint、PDFファイルをKDDI株式会社のサーバでSVGT形式のファイルに変換し、BREW® アプリで閲覧できるソリューション)」で採用。

### 新しいビジネスへの挑戦

- **ライセンスビジネス**  
開発ライセンス (SDK: Software Development Kit) の販売
- **ロイヤリティビジネス**
- **コンサルティングビジネス** (コンテンツ変換など)
- ASPなどの**ストックビジネス** (CAD図面など各種電子ファイルのSVGコンテンツ配信サービス)

# 位置情報サービス技術

## air L P (製品開発コード)

測位システム (GPS) と地理情報システム (GIS) を融合した **位置情報サービス (LBS: Location Based Services)** 基盤ソリューション製品

### air L P (製品開発コード) の適用範囲

#### 動体クライアント(3種類のロケーション情報収集モードを標準装備)

- 定期的なロケーション情報の発信 (利用ユーザの操作なし)
- 能動的なロケーション情報の発信 (利用ユーザが発信操作を実施)
- 付帯機能として携帯カメラの撮影データを同梱してサーバ送付が可能
- ロケーションサーバから動体クライアントへの情報収集依頼による応答 (利用ユーザの操作なし)

動体



Internet

ロケーションサーバ



動体の  
・位置情報  
・蓄積情報 (移動体軌跡情報)  
を提供します。

SDK

お客様のサーバ



オプションサービス

- コンテンツプロバイダとのアライアンス  
ASPサービスにより以下のデータを提供
- 背景地図
  - 各種POI (Point Of Interest) データ
  - 各種統計データ等のコンテンツデータ

#### 新しいビジネスへの挑戦

- **ライセンスビジネス**  
開発ライセンス (SDK: Software Development Kit) の販売
- **ロイヤリティビジネス**
- **コンサルティングビジネス**
- ASPなどの**ストックビジネス** (ロケーションサーバ・オプションサービス)
- コンテンツプロバイダとの**アライアンスによるビジネス**

# セックの技術サービス

ビジネスフィールド	技術サービス				その他 (ソリューション ツールなど)
	リアルタイムソフトウェア			技術 アプリケーション	
	エンベデッド ソフトウェア	コアテクノロジー サービス			
モバイルネットワーク		携帯電話端末搭載 ソフトウェア 国際標準技術	基幹ネットワーク システム	<b>RealtimePower</b> シリーズ  Karearea airCube air smartG airL P	
ワイヤレス	携帯電話端末				
インターネット	車載端末 携帯情報端末	XML デジタル放送技術 ベクトル描画技術 位置情報サービス技術	Webシステム		
社会基盤システム			交通(航空,ITS),放送 防衛,物流,医療 位置情報サービス技術適用		
宇宙先端システム	人工衛星搭載機器 ロボット	オブジェクト指向 設計技術 ロボットソフトウェア 共通化技術	ロケット,人工衛星 天文関連システム		

# BF別中期方針

## モバイルネットワークBF

モバイル標準技術に関連して、**標準決めそのものに参画**するなど、コアテクノロジーサービスを先鋭化させ、お取引先を拡大  
通信事業者、電力会社など向け**基幹ネットワーク**技術アプリケーションの拡大

**FMC** (固定網とモバイル網の統合)の動向に注目

## ワイヤレスBF

国内向け及び海外向け携帯電話端末のエンベデッドソフトウェアでは、**Linux**や**Symbian**といった新プラットフォームへの適用力を強化し、また対象とする**要素技術**の幅を広げかつ技術的に深掘りするなどして、お取引先及びお取引を拡大

車載端末、情報家電などといった**様々なユビキタス端末**にビジネス領域を拡大

## インターネットBF

最新の**インターネット技術**、**地上デジタル放送技術**、**ベクトル描画技術**、**位置情報サービス技術**のコアテクノロジーサービス、またこれら技術を駆使するエンベデッドソフトウェア及び技術アプリケーション

地上デジタル放送技術、位置情報サービス技術などの**ソリューションツール化**を推進

ASPなどの**ストックビジネス**を研究

## 社会基盤システムBF

交通(空港、ITS関連など)、防災、放送、物流、医療など、**社会のインフラを支える技術アプリケーション**の提供を継続

地方自治体や防災市場など向けに**位置情報サービス技術に関わる技術アプリケーション**ビジネスを拡大

## 宇宙先端システムBF

**ロケット**、**人工衛星**、**天文分野**の技術アプリケーションで売上高のベースを確保

大学や他社との共同研究やロボットソフトウェア共通化活動を積極推進するなど、**ロボット分野**を拡大

# この資料についてのご注意

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、見通し、戦略など、及び将来の業績に関する見通しが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。

# ありがとうございました

ユビキタス社会の安全と発展のために

*“ Realtime@net ”*

本資料に関するお問い合わせ

株式会社セック IR室

電話 03 - 5458 - 7727